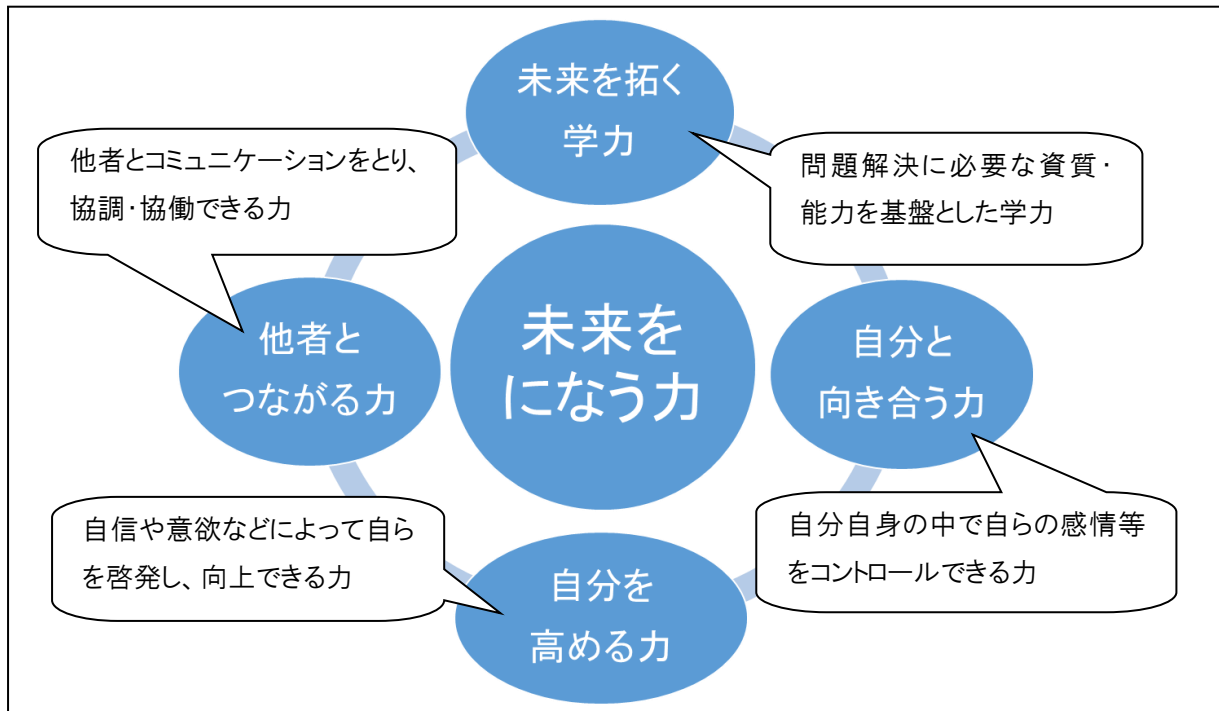


第2回ワーキング会議を開催しました

第2回のワーキング会議では、前回の会議で話し合った「長浜の子どもたちが生きていくこれからの社会（未来）に求められる力」について、下図のとおり整理し、「未来をになう力」を育成するための学校教育での具体的な取組について、グループ協議を行いました。



各グループから出た主な意見は、以下のとおりです。

＜各グループ共通＞ 「未来を拓く学力」を育成するための取組について

- ・ 「自分たちで授業をつくりあげる」…教師主導ではなく、学んだ知識を寄せ集めて自分たちで答えが見つけられたという実感を伴うことができれば、知識としても残っていくのではないかな。
- ・ 「小中連携」…異学年交流などをする事で視野が広がる。
- ・ 「行事の企画」…子どもたちの柔軟な発想を生かした企画、運営ができれば、と思う。
- ・ 「批判する力を育てる」…情報を鵜呑みにせず、批判してみる力をつける。新聞の要約などをすることで、自分なりの考えを持ったり、授業で討論をしたりすることでそういった力をつけていけるのではないかな。
- ・ 「教師自身の指導力の向上」…互いの授業を参観し合うなどして向上していく。
- ・ 「素直で自制心を持った生徒を育てる」…学力をつける上で何より必要な要素。教育全体の中で、また家庭との連携の中で育てていく必要がある。
- ・ 「市全体で統一したカリキュラムを作る」…探求的な学びとしてアクティブラーニングが言われて久しいが、具体的にどうするか、もっと学んでいく必要がある。
- ・ 「読書」…本を読むことで知識を増やし、ビブリオバトル等の取組で読む機会を増やす。
- ・ 「子どもを見る視点を転換していく」…パフォーマンス評価といった新しい評価の基準があってもいいのではないかな。
- ・ 「基礎・基本の充実、定着の取組」、「道徳科の充実」、「発表の機会を増やす（プレゼンテーション大会など）」

< Aグループ > 「自分と向き合う力」を育成するための取組について

- ・ 「自己決定をさせること」…いろいろな選択肢があって、自分はこうだと選択できる場の設定が必要。
- ・ 「スモールステップで、達成感が得られるような課題をやり遂げる経験」…自分に自信がないと自己決定することができない。スモールステップで認めたり、ほめたりしながら活動を進めていくことが大事。
- ・ 「体力の向上」…活動をやり遂げていく中で、姿勢の保持も難しい子どももあり、体力の向上も必要。
- ・ 「他の人が自分をどう見ているかを知る活動」…例えば、道徳の中で、エンカウンター的な活動の中で、自分のこんなところがよいとほめてもらえるような場面があるとよい。
- ・ 「キャリア教育」…将来やりたいことを学ぶ中で、今自分は何ができるかを考えながらやっていけるとよい。さらにいろいろな体験をする中で、自分にもこんなことができるという自信をつけてあげられるのではないかな。

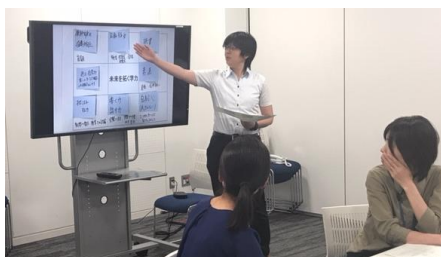
< Bグループ > 「自分を高める力」を育成するための取組について

- ・ 「特別活動の充実」…活躍できる場を生徒会活動、学級活動等でいかに仕組んでいくか。その中で、生徒自身が段取りや企画を行っていく機会が必要。子どもたち一人一人の個性に合った活躍の場が持てるとよい。
- ・ 「キャリア教育が一つの鍵」…将来を考えるとということで、職場体験を実施し、仕事について学んでいるが、体験したい仕事を自分で見つけることも大切ではないかな。
- ・ 「手応えのある問題にぶつかって、それを解決していった後の達成感を味わわせる」…一人では解決することが難しい問題をグループで解決していく授業形式もあっていい。また、失敗や間違いからも学べる、そういった授業があってもよい。
- ・ 「自分で計画を立てていくこと」…一人ひとりにスケジュール手帳を持たせている学校もある。



< Cグループ > 「他者とつながる力」を育成するための取組について

- ・ 「他者とつながるいろいろな経験をする事」…例えば、他己紹介をすることで自分にはこんなよさがあったのだと気づくことができる。また、たてわり活動などで、みんな活動して、みんなでもめて、みんな解決していくという一連の流れをたくさん繰り返すことが必要。
- ・ 「話す・聞くの活動」…自分の思いを語り、周りがそれを聞くといった経験をたくさんつむことが、他者とつながるときの糧となる。
- ・ 「表現の方法を知る機会を増やす」…他者とつながるときに言葉が乏しかったり、表現方法が十分でなかったりする現状がある。以前のよう



ように、地域の大人と関わって学ぶ機会が少ないことを考えると、学校で言葉をたくさん学ばせる、うれしいとか腹が立つという感情もたくさん表現方法があることを教えていくこと、子どもたちに（表現の）引き出しを増やしてあげることが大切。

今後、各グループの意見をもとに、(仮称)「未来をになう長浜っ子育成プラン」をまとめ、懇話会に提案する予定です。